

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立朝明高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	「社会に貢献できる人間へー自分づくりの三年間ー」をテーマとして、「時を守り、場を清め、礼を正す」の教育指針のもと、生徒が成長する学校	
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が卒業後も含め、目標を持って学校生活を送っている。 ・命を尊び、人権尊重の意識や態度が育つとともに、自己肯定感や自尊感情を持ちながら、自分と他者の人権を守るための実践行動ができています。 ・「社会人基礎力」を身につけ、礼儀を重んじ、社会規範の遵守・挨拶の励行・正しい言葉遣いができています。 ・基礎学力、思考の習慣と判断力、コミュニケーション能力が身についている。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基礎学力の定着及び学習意欲の向上を図るため、教職員全員が常に主体的・対話的で深い学びを目指した「授業改善」に取り組んでいる。 ・教育相談及び特別支援教育等が充実し、個に応じた指導並びに支援体制が整備されている。 ・各教科や分掌において、「生き抜く力」をはぐくむため、「考える力」や「判断する力」、「表現する力」などに対する具体的な教育活動の方針が明示されている。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>生徒：自己肯定感や自尊感情を持ち、自らの成長を実感して、進路希望が実現する。</p> <p>保護者：安全・安心して学べる学校であり、心身ともに健全な子どもの育成が図られている。</p> <p>地域社会：卒業までの粘り強い支援と、卒業後、社会を生き抜く力をつけている。</p> <p>進路先：社会人基礎力を始めとする人間力の向上に係る教育が行われている。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>こ小中学校：発達段階に応じた学びの連携と協力。</p> <p>保護者：学ぶ力・心の力・体の力の育成と希望する進路の実現。</p> <p>地域社会：地域経済や自治活動の中心となる人材の育成。</p> <p>卒業生：母校に誇りを持ち、同窓生としての情報交換の場。</p>	<p>こ小中学校：継続的・体系的なキャリア教育に係る連携。</p> <p>保護者：社会の一構成員としての自覚確立のための連携。</p> <p>地域社会：生徒支援及び社会人マナー向上の支援。</p> <p>卒業生：情報提供及び人的・経済的な支援(就職先等)。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、校外で生徒の活躍する姿にお褒めの言葉をいただいた。地域や中学生に向けたがんばる生徒の姿の発信をもっと強化する必要がある。 ・AKT や授業改善チームの活動など教職員の主体的な改善活動を強みとして、生徒の模範となる活動の継続を期待する。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣・挨拶が身につけている生徒が増えてきている。 ・自己肯定感や自尊感情が弱く、自分の生き方や目標を考えられない生徒が多い。 ・基礎学力の定着が不十分な生徒もいる。 ・主体的・対話的で深い学びを目指して授業力の向上を図るとともに、学習の目的や狙いをより明確に提示する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒の良さを伸ばし、苦手意識を克服できるよう支援する体制が整っている。 ・生徒や保護者、地域などの意見や要望を把握し、教員同士が対話を進めながら問題を解決し、課題の実現に向けての行動を組織的に行うことができる。さらに成果をあげるために、「情報の共有」や「経験の伝承」を進めていくための場を充実させる必要がある。 ・保護者や地域と一層の連携を図るとともに、学校の改革の様子や生徒の活動の様子を積極的に外部にPR する必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が社会で自信を持って活躍できるよう、本校が強みとする福祉教育や部活動を通じた人間づくり等の教育を一層推進し、学校の特色化・魅力化を図る。社会を生き抜く力を育み、社会で自立・共生できるようになるため、基礎的な知識や技術を身につけ、その知識や技術を実生活中で活用できるようにする。また、人権教育の充実を図り、生徒一人ひとりが命を尊び、自己肯定感や自尊感情を持つことができるよう人権尊重の意識や態度を育てる。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身が自己の教育力の向上を目指し、授業研究・公開授業・指導法の改善を積極的に行い、学校組織としての教育力を高められるよう「授業改善」の取り組みを進める。 ・規範意識の醸成、基本的生活習慣の確立を基盤とした生徒の指導・支援を徹底することにより、地域から信頼される学校づくりを推進する。 ・教職員が「やりがい」や「満足感」を感じながら生き生きと働くことができるよう、総勤務時間数削減等の取組を推進する。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
【学習指導】	(1)各教科で、具体的な教育活動の方針を明示 …つきたい力(目標)の明示 → 学期ごとに1回、年3回 (2)わかる授業の徹底、教員の授業力の向上 …授業公開を行い教員自身の「気づき」を促す →授業見学週間の実施と振り返り研修会の開催 (3)安心して学べるクラス作り…学年毎に情報交換会・分析会・研修会等を実施	(1)シラバスに明示するとともに、毎時間の授業で、授業の目標や内容を板書し、つきたい力を説明している。 (2)1月に授業見学週間を実施。授業プリントに理解が深まるような工夫、自己評価やふりかえり欄等を掲載する等の工夫をしている。 ・授業理解度(生徒アンケート):81.5% (3)各学期に学年毎の情報交換会を実施。	※
【規範意識】	(1)生活規範、授業規律の確立…服装マナー・授業マナー・ベル席の徹底 交通マナー→生徒アンケート(達成度 97%以上) (2)基本的生活習慣の確立…遅刻・早退・欠席数の減少 → 昨年度より 10%以上減 (3)環境美化への意識向上 → 生徒アンケート(達成度 85%以上)	(1)服装マナー(登校時の昇降口指導等)、授業マナー・ベル席の徹底(学年集会、各教科担当からの指導等)。 (2)今年は新型コロナへの対応で、欠席や早退について配慮している為、減少に至っていない。 (3)美化委員の活動として、集積場での指導や掃除関係用具の管理を行い、意識向上に繋げている。 (生徒アンケート達成度)頭髪服装マナー:95.2%、授業マナー・ベル席:96.9%、環境美化:90.6%	◎
【人権教育】	(1)命の大切さを理解したうえで、自分の人権や他者の人権を守り、人を思いやることのできる生徒を育てる…人権意識を高める活動をする。 (2)教員が願いや思いを伝える場面を増やす → 人権講演会、人権LHRの開催	(1)保々地区「私の人権メッセージ・私の人権標語」づくりと応募を実施。 (2)6月、9月に学年別人権LHRを実施。新型コロナの影響で全校一斉の人権講演会は実施できなかったため、12月に各学年別にDVD『どんぐりの家』の鑑賞と人権LHRを実施。	◎
【キャリア教育】	(1)社会で自立し共生することができるように生き抜く力を育む …卒業後の生き方に対する指導を日常的に行う →年間3回以上の面談を行なう。 ・卒業生の進路先と連携をとり、卒業後の支	(1)・1学年:キャリアパスポート活動を月1回実施、毎月目標・行事等の振り返りの取組。・2学年:6月に職業適性検査実施。・3学年:朝活(新聞要約・感想まとめ)、進路ガイダンス・面接週間の設定、小論文指導、履歴書・お礼状指導等。面談については、各学年で臨時休校中オンラインで実施したほ	

	<p>援体制を整える。</p> <p>(2)自分の将来に価値を見出し、目標を持たせる</p> <p>…課題に対し考え抜き行動できるようにする➡キャリア教育にかかわる行事を年間10回以上実施</p>	<p>か、6月・9月・11月にも実施。各学期末に保護者懇談実施。</p> <p>(2)2学年のインターンシップは新型コロナの影響でジョブシャドーに変更。校内研修(4日間)、しごと密着体験(1日)を実施した。その他、学年別進路ガイダンス、合同進路ガイダンス等を実施したが、新型コロナにより中止や規模縮小とした行事もあった。</p>
【保健管理】	<p>(1)自らの健康のために適切な行動をとれる力を養う。</p> <p>…歯と口腔の健康づくりの充実➡要治療者の受診率50%以上</p>	<p>(1)三者懇談(1学期末)で、全保護者に検査結果を配付、受診勧奨。受診率10%(11月末)。受診、治療を受けても医療機関の証明をもらっていない生徒がいる為、保護者の記入欄を設け、実際の受診者数を正しく把握できるよう改善の予定。</p>

改善課題

- ・目指す生徒像に向けて3年間でつきたい力を計画的に育む体制の確立
- ・生徒が自ら考えて行動できる力の育成 ・生徒の自尊感情、自信を育む 教育活動や行事の実施
- ・キャリア教育行事の精選 ・人権感覚を養う教材の発掘、教員人権研修の充実
- ・教員の授業力の更なる向上

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
【組織運営】	<p>(1)各分掌間での情報共有の強化…定期的な情報配信とミーティングを実施する</p> <p>(2)教員の目的意識の共有化</p> <p>…オフサイトミーティングの実施 ➡年1回以上実施</p>	<p>(1)企画委員会の機能強化(週1回開催、情報共有と課題検討)</p> <p>(2)オフサイトミーティング未実施(新型コロナ対応)</p>	◎
【資質向上】	<p>(1)教員の学びの機会を増やす</p> <p>…校内研修の改善・充実に努め、校外研修への参加を推奨し、教員の資質向上を目指す ➡校内研修参加率80%以上</p>	<p>(1)校内・校外研修の縮小、オンライン研修の実施。(新型コロナ対応)</p>	
【キャリア教育】	<p>(1)学校の取組としてのキャリア教育を充実する</p> <p>➡全教員、各分掌、各教科の想いを取り入れたプログラムの改善</p>	<p>(1)キャリア教育プログラムの見直し・改善実施</p>	
【地域社会との連携】	<p>(1)朝明高校の良いところ生徒の様子を知ってもらう。</p> <p>…広報活動の強化 ➡ 中学校訪問回数増、体験入学の実施、マスコミやHP等を通じた情報発信の推進</p> <p>(2)地域行事等への積極的な参画</p> <p>…地域行事等への生徒・職員の参画 ➡ 年5回以上</p>	<p>(1)校長による中学校訪問実施、体験入学の回数増(1回➡2回)、HPの情報発信強化:(R1)32回➡(R2)46回更新(2月末)</p> <p>(2)地域行事はすべて中止(新型コロナの影響)</p>	
【教職員の働きやすい環境づくり】	<p>【教職員の働きやすい環境づくり】</p> <p>(1)総勤務時間の縮減に向けた取組</p> <p>①時間外労働時間:月平均16.8時間以下(前年比5%削減)、②月45時間超の時間外労働者の延べ人数:0人、③年360時間超の時間外労働者の人数:0人、④休暇取得日数:18日/年(年1日増)、⑤定時退校日:月1日設定・定時退校実施率80%以上、⑥会議時間の短縮:60分以内の放課後会議の割合80%以上、⑦部活動休養日:週1日以上</p> <p>(2)信頼される学校づくり</p> <p>…①「信頼される学校であるための行動計画」の実施、②コンプライアンス・リスクマネジメント研修の開催:年3回以上</p>	<p>(1)2月末現在</p> <p>①10.8H、②26人、③4人、④14日、⑤91.6%、⑥88.2%、⑦100%</p> <p>(2)①策定・実施、②各学期1回実施(オンライン等)</p>	※

改善課題

- ・学年と分掌の密なコミュニケーションと連携の強化
- ・ねらいや情報の共有、業務の可視化、行事の精選
- ・各種手続きの簡素化

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝明高校の生徒が活躍している姿は、地域の方々や地元の小中学校でも評価されている。地域の先輩が高校で活躍している姿は中学生にとって、よいモデルとなっている。社会に貢献できる生徒の育成に向けて丁寧に指導していただいている朝明高校の様々な教育活動を今後も継続していただきたい。 ・HP更新等の広報活動に積極的に取り組んでいただいております、今後その成果も期待できる。さらに、朝明高校に進学すれば、ゆくゆくはこういうことが実現出来るというイメージや高校卒業後の姿、朝明高校で学んだことが将来の夢や希望につながったということを伝え、アピールしていくことができるとよい。 ・地域のまちづくりの取り組み等に対して、地域に立地する高校生としての声を聞かせていただき、まちづくりに参画していただくことを期待する。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上に向けた取組や授業改善を推進する。 ・生徒の自信や自己肯定感の向上につながる教育活動や学校行事を強化する。 ・社会に貢献できる生徒、自ら考え行動できる生徒の育成に向けて、高校3年間を見通して計画的に育む教育活動の構築を推進する。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の魅力を地域や中学生に発信する取組、本校の教育活動を通じて育成される力や生徒の卒業後の姿を伝える取組をさらにすすめる。 ・地域行事や地域のまちづくりへの積極的な参画を推進する。 ・学年・分掌間のコミュニケーションと連携を強化し、ねらいや情報を共有して学校全体として取り組む体制づくりをすすめる。 ・情報共有、業務の可視化、行事の精選、手続きの簡素化等をすすめ、働き方改革につながる。